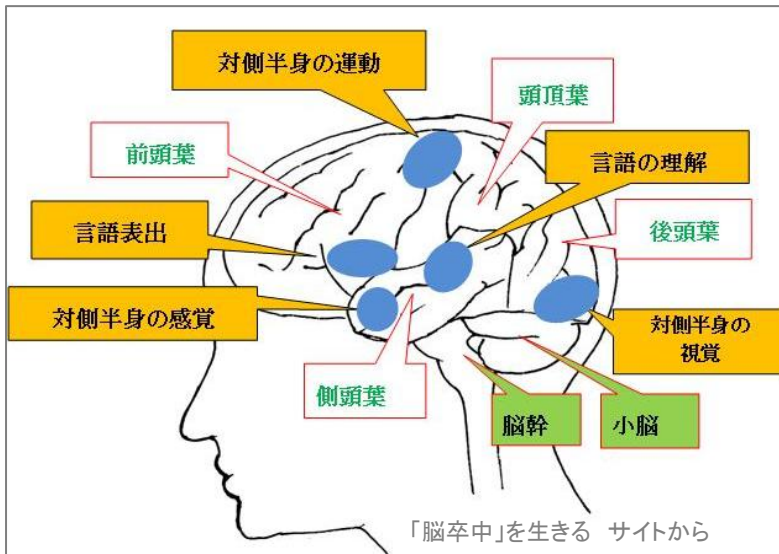


週刊 タバコの正体

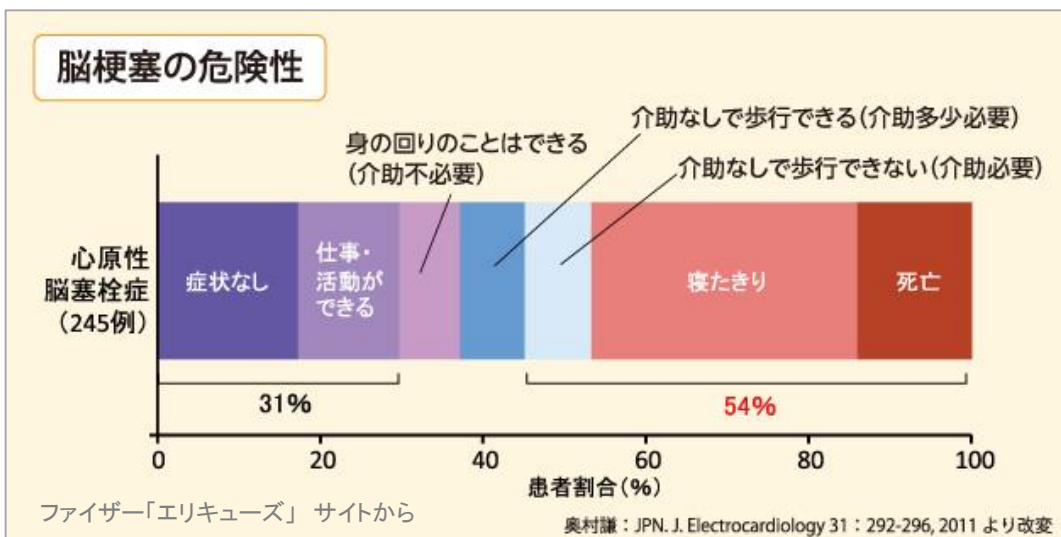


タバコのパッケージに『喫煙は、あなたにとって脳卒中の危険性を高めます』という警告が掲載されている事はすでに紹介しました。これは、タバコによって血管がダメージを受け、脳の血管が詰まって脳梗塞こうそくになったり、破裂して脳卒中になる危険性が高くなるからでしたね。

そこで、左上図を見てください。脳は身体のあらゆる機能をコントロールするところなので、脳梗塞や脳卒中になると最悪の場合は死亡にいたりますが、そうで

なくても発症した場所によっていろんな後遺症が残ります。

ある調査によれば左図にあるように、発症した人の半数以上が死亡または介助が必要な状態となってしまい



ます。このグラフを逆に見れば、脳梗塞を発症すると通常の社会生活に復帰できる確率は3割程度にとどまる事がわかります。

もし、タバコを吸い始めてしまい、そのまま何年も吸い続けると、脳卒中や脳梗塞を発症する危険性が日々増えていきます。そして、何十年か後に脳の血管に異常をきたすと、それ以降の人生に大きなハンディを負うことになるのです。

いかがでしょうか。こんな実情を知ってしまうと、わざわざタバコを吸い始める気にはならないでしょう。皆さんには、是非そんな気持ちを身近にいる喫煙者に伝えて欲しいと思っています。そして、少しでも早いうちの禁煙を勧めてあげてください。